

2019年10月10日

メディア

## TBS あさチャン! 「防災面で求められる無電柱化」特集

2019年10月10日にTBS「あさチャン!」内「調べるホットワードQ」にてにて、東京都豊島区の巣鴨地蔵通り無電柱化事業について特集されました。

# TBS

# あさチャン!

放映日: 2019年10月10日(木)

7:40-7:52



1 千葉県に上陸した台風15号。改めて注目されたワード、それが無電柱化。倒れ、道を塞いだ電柱は、救助・復旧活動の妨げにもなりました。無電柱化は、防災面でも大きく求められています。



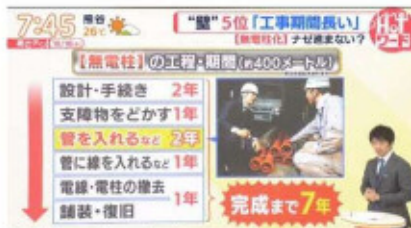
2 こちらは、東京八王子市のある商店街の写真。一目瞭然。無電柱化は、景観の面でも求める声が大きいです。



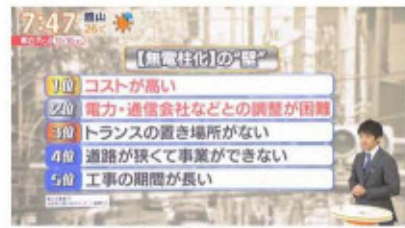
3 しかし全国でも最も無電柱化が進んでいる東京23区でも、電柱化率はわずか8%にとどまっています。無電柱化なぜ進まないのでしょうか。



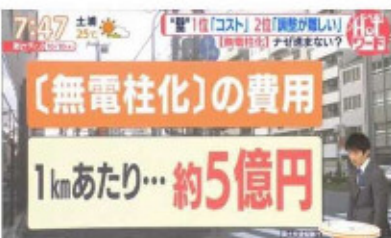
4 1日数メートルの管を埋めるのがやっとです。約400M程の区間に管をつなげていだけで、2年もかかるんです。400M(無電柱化を)行うのに、7年かかると標準的に言われています。



5 管を入れる作業で、約2年。その前に設計手続きに2年。支障物移設に1年。管を入れるのに、2年。管に電線を入れるのに2年。電線電柱の撤去と道路を舗装して復旧するのに1年。完成まで合わせて、400mで7年です。



6 気の遠くなる作業ですよね。無電柱化が、進まない理由がわかりました。国土交通省データで無電柱化の壁で、多数上がっている課題の順位2位は、電力・通信会社などの調整が困難。1位は、コストが高い。



7 1位のコストですが、無電柱化工事は、1kmあたり約5億円かかります。これを日本全国、張り巡らされている電線でやるとなると、相当膨大なお金がかかるわけです。



8 しかもこの無電柱化は、工事を一緒にやらなければいけません。電力・通信事業者。さらには国、自治体合わせて無電柱化を図っていきます。なかなかこの調整が難しい現場があるようなんです。



9 無電柱化に詳しい放送大学教授の松原先生にお話を伺いましたが、ヨーロッパ諸国は無電柱化を国が命令して、事業者に強制力があるそうです。日本は、自治体がお願いをし、事業者はお付き合いをしている傾向がある。



10 ただ、日本も無電柱化を進めています。ヒントがこちら、巣鴨の地蔵通りにありました。いったい何をしてるのでしょうか。



11 無電柱化を日本で推進していくために最新の技術を取り入れているのが、豊島区の巣鴨地蔵通り。何が行われているのかと言いますと、地下をスキャンしています。



12 水道や下水道、ガス、通信と様々な管が張り巡らされている状況を3Dで色分けしたものです。地下の状況を事前に詳細に把握することで、工事期間を短縮。コストダウンにもつながってくるという事なんです。